

新座市立東北小学校のシンボル等について

1 校章とその由来 〈考案者 校長 平野正夫 教諭 飯田英子〉

校名「東北」にちなんで、黎明から朝日と表現しようとした。そこで新座に多い垣根の「柊」の樹間を通して燦然と輝く太陽と周囲の青空を描いたものである。

中央の大きな太陽が、元気・希望・勤労などを、青空が清明を、そして周辺に8枚配した柊の緑の葉が正義（節分の豆撒きに、柊の葉にいわし、鬼を払う）と仲良く協力を表象するものである。



〈経緯〉

開校まもない昭和44年7月、各家庭・一般に広報(にいざ)などを通して校章募集を呼び掛けたが、応募作品17点に適当なものが見当たらなかった。その後、図工関係職員を中心に考案したが実らず、昭和45年度に至り新任で着任した飯田教諭のアイデアを基礎に校長が手を加え(尖の数・葉の数・文字など)職員会議で決定した。

2 学校のシンボル等

昭和50年 市の「快適な環境づくり」の方針に基づき、校章の由来に「柊」(ヒイラギ)が使用されていることから「学校の木」を「柊」(ヒイラギ)とし、学校の花を「マーガレット」に職員会議で選定する。



学校の木「柊」



学校の花「マーガレット」

新座市立東北小学校校歌

【東北小学校校歌】

Moderata (中谷孝雄の速きで)

中谷孝雄 作詞
吉野一行 作曲

The image shows a musical score for the school song. It consists of two systems of staves. The first system has a vocal line and a piano accompaniment. The second system continues the music with a key signature change to one sharp (F#) and a tempo change to 'Allegro'. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings.

校歌

作詞 中谷 孝雄
作曲 吉野 一行

- 一、自然のみどり なお残る
野火止の野に 風光り
小鳥のうたも ほがらかに
みんな明るく のびのびと
仲よく元気に 前進だ
あゝ東北 われらの小学校
- 二、はるかに霞む 富士よりも
高き希望を いただきつゝ
大地を踏んで 立つわれら
みんなこころも さわやかに
仲よく元気に 前進だ
あゝ東北 われらの小学校
- 三、かゞやく朝日 むさし野の
空ひろびると 限りなく
われらのゆく手 照らすなり
みんな手を取り すこやかに
仲よく元気に 前進だ
あゝ東北 われらの小学校

文責 新座市立東北小学校 教頭 塚田 昭一